

2017

4月

ボラ・ほっと

第44号

発行：北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター（TEL:0568-25-8500）編集：北名古屋市ボランティア連絡協議会

春です！さあ、ボランティア始めましょう！

きっと、あなたにぴったりのグループがあるはず…。

興味のあること、なんですか？

高齢者支援

昼食会
施設ボランティア
介護予防

障がい児・者支援

点訳、手話、音訳、
要約筆記、ガイドヘルプ、
障がい児・者とのふれあい

無償性

自主性

継続性

子育て・児童支援

母子父子家庭への支援
おもちゃの修理

文化・芸術

イベントでのお茶会
フランス語でのフリーガイド

まちづくり

麵作りを通した
地域福祉

社会性

防災・防犯

防災ボランティア

環境美化

リサイクル手作り品作成



さあ 始めてみましょう！ボランティア

ボランティア（活動）って、何？

語源は、ラテン語の「VOLO（ヴォロ）」であり、英語では「WILL」すなわち「自分で○○する」という意味です。

誰もが人間らしく豊かに暮らしていける社会を目指し、身近なところでできることを自らすすんで活動することです。

ボランティア活動は人に言われてするものではありませんし、しなくてはならないものでもありません。

「あたがいさま」の気持ちがボランティア活動の原点

だれが上で、だれが下という気持ちがない（対等で民主的）

強制されてやるのではない（自発性・自主性）

見返り・報酬を期待しない（無償性）

自分と他者（仲間や社会）との関わりを大切にする（社会性・福祉性）

無理なく続けること（継続性）

前向きな気持ちを持つこと（開拓性・創造性・先駆性）

柔らかな発想をすること（柔軟性）

いざれも、ごく普通のあたりまえのことばかりです。

つまり、その気になれば誰にでもできる活動、それが
ボランティア活動です。



「西春点訳クラブ」
点訳体験



「じょいらいる」
スタンプラリー受付



「虹」
カード作り体験



“ふれあいフェスタ2016” 各コーナーでボランティア大活躍！！

ボランティアを始める前に知っておきたい心がまえ

ボランティア活動には決まったルールや方法があるわけではありませんが、自分にとっても相手にとっても有意義なものになるよう、次のようなことに心がけましょう。

- ①自分に合った身の回りのことから手がけましょう
- ②相手のニーズ（求めること）に合わせて活動しましょう
- ③無理のない計画をたてましょう
- ④約束は守りましょう
- ⑤秘密は守りましょう
- ⑥たえず学習し、自分を成長させましょう
- ⑦宗教や政治活動とは区別しましょう
- ⑧謙虚さも大切にしましょう
- ⑨まわりの理解と協力を得ておきましょう
- ⑩安全対策に充分配慮しましょう



ボランティア団体の活動の様子



「北名古屋おもちゃ病院」

「北なごや防災ボランティア」

相談・問い合わせはお気軽に

北名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒481-0033 北名古屋市西之保藤塚93番地

TEL (0568) 25-8500

FAX (0568) 25-1911

E-mail fukushi@kitanagoya-shakyo.jp

ボランティア相談

毎月第3水曜日 午後1時30分～3時30分

北名古屋市総合福祉センター「もえの丘」

TEL (0568) 26-2888

ボラ・トピックス

笑顔で楽しくボランティア

東尾張フロックボランティア集会



平成28年度
東尾張ブロック
ボランティア集会

とき
平成28年11月26日
午前10時～午後3時

11/26(土)



平成28年度に表彰された
ボランティアグループ
市社会福祉協議会会長表彰
(ボランティア活動10年以上)

◇ 未 来

キツツキの会

手にとって
みてください！



皆さんは点字の本を見たことがありますか？
キツツキの会では、小説などの点字本を東図書館に寄贈し蔵書として加えていただいている。
「このボツボツはなんと書いてあるんだろう？」と興味を持った方は、社協にお尋ねください。
今年度は点訳ボランティア養成講座も開講予定です。
希望図書の点訳も大歓迎です。



『ボラ・ほっと』に関するお問い合わせは、
〒481-0033 北名古屋市西之保藤塚93番地

北名古屋市社会福祉協議会 ボラ・ほっと係 E-mail:fukushi@kitanagoya-shakyo.jp

ボランティア集会『はばたけ！！元気でボランティア』が瀬戸市文化センターで開催されました。

オープニングは地元「天くう」の皆さんによる威勢の良いリズムの和太鼓です。

続いてNPO法人東濃成年後見センター理事長・渡辺哲雄氏の“やさしい社会・つめたい社会～ボランティアに求められているもの”というテーマで講演がありました。

「ボランティアは、ただ善意で施すではなく相手の主体性を大事にして支援することでやさしい社会が出来るのではないか」とのお話しに、今まで自己中心でボランティアを行ってきたかもしれない反省しながら聞き入っていました。

午後の交流会はテーマごとに6部屋に分かれ、昼食をとりながら自己紹介や所属ボランティアの情報交換をしました。

私は「手作りおもちゃと積み木遊び」に参加しました。簡単な部品を組み合わせて作る万華鏡は結構うまく作れたと思います。続いて、たくさんの積み木をリーダーの指示のもと、人が入るくらいの家をみんなで協力して作り上げ、出来上がったら一本ずつ積み木を抜いていくハラハラドキドキのゲームで楽しいひと時を過ごしました。

次回の開催地は尾張旭市です。

【大野あけみ】